

令和5年度 第2回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和5年6月6日（水）18：00～19：07

【場 所】 浜益支所2F 庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 総合整備計画書
- 3) 過疎地域持続的発展市町村計画【変更】(案)
- 4) 浜益宝箱事業関係資料
- 5) 令和5年度自主公開研究会1次開催要項
- 6) 陣屋展ポスター
- 7) 2023荘内藩ハママシケ陣屋プロジェクトちらし
- 8) 連続講座「はまます夜学」
- 9) 生きがいつくり学園運動会

【出席者】 8名（13名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美	○	委員	細田 幸男	○
副会長	佐藤 晃一	○	委員	阿部 ゆかり		委員	徳田 和之	○
委員	岡本 俊介		委員	木村 美幸	○	委員	柿岡 奈々絵	○
委員	久慈 貞子		委員	徳地 克実	○			
委員	鳴海 翔		委員	赤間 香子				

（支 所） 高橋支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）

伊藤市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）

（本 庁） 企画経済部企画課厚田浜益担当 幸田課長、吉田主査、後藤主任

（事務局） 佐藤地域振興課長、佐藤主査、川村集落支援員

【傍聴者】 3名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 実田辺地に係る総合整備計画の策定について
- 4 協議事項
 - (1) 高齢者に優しいまちづくりに関する意見交換
- 5 その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

1 開 会

【事務局】

ただ今から、令和5年度第2回浜益区地域協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

【渡邊会長】

—会長挨拶—

【事務局】

それでは、会議を進めさせていただきます。本日の会議は、出席委員が13名中8名と過半数に達しておりますので成立していることを報告します。

また、本日の会議に本庁企画課厚田・浜益担当の幸田課長、吉田主査、後藤主任にお越しいただいておりますので報告いたします。

それでは、この後の進行を渡邊会長にお願いいたします。

3 報告事項

【渡邊会長】

報告事項に入ります。実田辺地に係る総合整備計画の策定について、本庁企画課より説明をお願いいたします。

【吉田厚田・浜益担当主査】

総合整備計画書の資料をご覧ください。

本計画は実田地区のテレビ共同受信施設の改修を行うため策定するものです。

法律では、交通条件および自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、他の地域に比較して住民の生活水準が著しく格差が生じやすい低い山間地、離島等の地域で住民の数その他について政令で定める要件に該当している地域を辺地と定義しています。

こうした地域格差の是正などを図ることを目的とした制度、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき総合整備計画を策定することで、法に基づいて講じられる特別措置を活用することができることから、こうした措置を活用しながら持続可能な地域社会の形成及び地域活力の更なる向上が図れるよう取り組みを進めようとするものです。

なお、後ほど過疎計画の変更についてご説明いたしますが、辺地と過疎の違いにつきましては、辺地対策事業債いわゆる辺地債が、過疎対策事業いわゆる過疎債より財政的に有利です。簡単に言いますと、100万円借金をしても辺地債は80万円、過疎債は70万円があとで返ってくるので、実質辺地債は20万円、過疎債は30万円の負担で済むという有利なローンを組めるというものです。

それでは、計画の具体的内容についてご説明します。まず、辺地の人口ですが、施行例により辺地の要件として50人以上となっています。実田地域の令和5年4月1日現在の人口が100人と、要件を満たしています。

次に辺地の概況については、辺地を構成する町村又は字の名称は実田地区となっています。

地域の中心の位置については、固定資産課税台帳に登録された宅地の3.3平方メートル当たりの価格が最高の価格である地点となっています。

次に辺地度点数は、規則により基準が100点以上となっており、算定した結果254点と基準を満たしています。

公共的施設の整備を必要とする事情及び公共的施設の整備計画については、記載内容のとおりです。

最後に、計画策定に係るスケジュールについてです。本計画は実田地区限定であることから、本協議会で報告後、6月の第2回石狩市議会定例会への上程を予定しております。

次に、石狩市過疎地域自立促進市町村計画いわゆる過疎計画の変更についてご説明します。過疎地域持続的発展市町村計画【変更】（案）の資料をご覧ください。

市では、石狩市過疎地域自立促進市町村計画を策定しており、計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間となっています。

本計画の対象地区は、厚田区、浜益区のエリアに限定され、本計画に搭載されている事業については、財政的に有利な過疎対策事業債を充当することが可能です。

この計画に、今年度厚田区別狩地区のテレビ共同受信施設の改修を実施するにあたり、テレビ難視聴解消施設整備事業が本計画に未掲載であることから、事業名を追加するものです。

また、本市の総面積が国土地理院の電子国土基本図の更新に伴い、海岸線上の形状変化が面積地増減の要因となり本市の面積が変更となったことから、本計画上の面積も変更を行うものです。

過疎計画の今後のスケジュールについては、本協議会及び5月31日に終了しました厚田区地域協議会で報告したのち、今月開会される第2回市議会定例会でこの事業についての補正予算措置が決まり次第、北海道に提出する予定です。

【渡邊会長】

企画担当から説明を受けましたが、質問等ございませんか。

—質問等なし—

4 協議事項

【渡邊会長】

次に協議事項です。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

これまで、高齢者に優しいまちづくりについて協議を行ってまいりましたが、浜益宝箱事業については、書面のみで説明を続けてきました。今回は実際にこういう動画を公開してみたいと思っているものを3本見ていただき、ご意見をいただければと考えております。リラックスしてご覧いただければと思います。

まず、1本目、昔はまますに炭鉱が。。。というものです。こちらは、わかもん会製作の動画です。ご覧ください。

—昔はまますに炭鉱が。。。上映—

続きまして2本目、川村集落支援員が取材を行いました、佐藤信一さんの竹かご作りです。これは技術の伝承、歴史文化について取材したものです。

—竹かご作り@佐藤信一さん上映—

こちらは、サンプルで作ってみたものですが、浜益弁を字幕に入れて皆さんに伝えると面白いと思っています。

最後に、前回の地域協議会でも話題に出ていました、わかもん会製作の浜ザースカイという動画です。ご覧ください。

—浜ザースカイ上映—

以上3本目、浜ザースカイでした。会議の時間の都合もありダイジェスト版となっております。

みんなで考えて、みんなで動いていこうというメッセージが強く、このようなものを発信していけば、もっと浜益も変わっていくのではないかと思います。

わかもん会に作っていただいた動画2本については、現在の浜益の姿を映したものであって、竹かご作りというのは先人の知恵や技術を映像化していくことで、文化や技術の伝承に有効だと考えています。これまで、昔の記録映像等がありニュース番組的な要素が強かったのですが、もっと浜益を身近に感じてもらえるようなコンテンツを作っていくことにより、伝承や浜益を知ってもらう機会に有効だと考えています。更に動画だけではなく、区民カレンダーのバックナンバーや浜益村時代の広報誌等、故郷の出来事を公開するということが可能な状況です。地域に眠っているビデオテープ等のデジタル化や編集をしていくことも考えております。

今回の3本の動画を見ていただいて思いついた事柄や人物等思い当たりましたら情報提供をお願いします。川村集落支援員にもご協力をいただいて取材することも可能です。

情報提供ですが、石狩市の取り組みの情報です。社会教育課にて映像アーカイブ事業を行っております。YouTubeチャンネルを開設して、動画で昔を振り返るものを作っております。これは、YouTubeチャンネルの運営自体を事業者に委託しており、素材を渡して公開する形を取っております。

浜益宝箱事業をどういう形で世に出していくかということも含めて、今後検討が必要です。この事業は浜益に興味を持った人が繋がって、閲覧をして、浜益に行ってみよう、住んでみようというきっかけを作って、浜益の方々と関係人口との橋渡しとなって、地域の活性化に繋がるものと考えており

ますので、素材を増やして有効な公開の仕方を話し合っていけたらと考えております。

【渡邊会長】

今、3本の動画を見て、事務局からの説明もありましたが、聞いてみたいことや確認したいこと、感想等ございませんか。

【柿岡委員】

こういう事業に使うって欲しいという素材があれば、地域振興課に持って行けば、いつでも受け付けてもらえますか。

【事務局】

はい、いつでもいただければと思います。頂いた素材については、ハードディスク等に保管していく必要があると考えています。素材はたくさん持っておきたいので、情報提供や素材の提供、編集していただいたものは凄くありがたいのでお待ちしております。

【柿岡委員】

編集していないものでも大丈夫ですね。

【事務局】

はい。大丈夫です。

【渡邊会長】

今まで、区民カレンダーの古い写真や、行政サイドで撮影した8mmフィルムの記録はあると思いますが、皆さんの中で地域に眠っているものや、私はこういうこと知っていますというものがあれば、情報を提供していただければと思います。

【木村委員】

浜益村の教育委員会が実施した社会教育事業の映像があるかもしれません。8mmフィルムだったと思いますが、社会教育団体の映像もビデオテープで残っていると思います。

【事務局】

8mmそのものは、簡単にデジタル化できます。それなりの費用はかかりますが。

【木村委員】

誰が撮ったかはわかりませんが、社会教育団体が活動している様子等の映像があったような気がします。

【渡邊委員】

スマホで撮った映像でも良いですか。

【事務局】

その形式が一番編集しやすいです。

【渡邊会長】

様々な団体の活動の中の一環として、催し物を撮影したり、浜益村の開基100周年、80周年等、行政サイドで撮影したものがあつたと記憶していますが、それをどこに保管しているのか、当時は多分8mmフィルムが多かつたと思います。

【事務局】

8mmやビデオの形式で眠っているもの、写真等、様々な形の素材をデジタル化して保存する取り組みをしておかなければならないと思います。以前の協議会で鳴海委員から、学校にある沖揚げ音頭の全盛期の頃等、記録映像を保管しなければならないと考えています。

【柿岡委員】

この事業は、誰が窓口になって、どういう形で公開するかは決まっていますか。

【事務局】

運営主体や運営方法についてはこれからさらに練っていくことになります。

それまでの間に、素材を集めておくということが必要だと考えています。

【渡邊会長】

まだ今は、ほんの入り口の段階で、これから玄関を開けてどのように進んでいこうか、皆に紹介していこうかというようなことに発展していければと思います。色々なことについてフリートキングでリラックスした中で、奇抜なアイデアを出していただければと思います。

【渡邊委員】

濃昼の番屋が2年前くらいまで公開されていましたが、しかし、もう中を見せられなくなるからということで、濃昼の番屋の中を撮影した映像があります。また、もう1年以上前かと思いますが、新聞で当別の小学校がVRで見られるという記事があり、そういう形で公開できたらと思っています。

【事務局】

仮想現実というもので、建物の無いところに、昔の建物はこのような形で建っていたというのが体感できる技術があります。

私も荘内藩陣屋跡にARで建物を再現できないかと色々な方法を探してみたのですが、元になる設計書が無いと精巧な物が作れないそうで、クオリティの低いものになってしまう場合もあると聞きました。その段階で、陣屋跡に関しては手書きの図くらいの配置図しか無かったので、実現は難しいかと見送りました。

【渡邊会長】

あの図も建物がそういう形だったのかと言われると、あくまでも、想像の範疇を超えない図なので、発掘作業をしなければ、実際の場所に建物が建っていたという確定はできないそうですね。

しかし、詳しい建物配置状況というところにはたどり着きたいと思っています。

【事務局】

宝箱事業として取り組めるかは、運営主体や予算規模によって実現可能かどうかとなりますので、すり合わせをしながら方法を見つけて行ければと思っています。

【柿岡委員】

各集落のお祭りも映像で残せたらいいですね。

【事務局】

お祭り行列や、それぞれ舞台発表などがある地域もあり、それぞれの地域で名物的に行われていたものは残しておきたいです。

【柿岡委員】

御料地のお祭りを見てみたかったです。

【渡邊会長】

ビデオ等で撮影していたと思います。ほとんどの地区でコロナになってからお祭りが縮小され、ほとんど行われていないですね。

それで、再開しようとなった時に、中心メンバーが高齢化していて再開が難しかったりしています。柏木地区も今回4月の総会で図ったのですが、お祭りを行うのはエネルギーが必要。高齢化が進んで戸数も減ってきているので、神社の当番だけにしようという話になり、漁協青年部の方々がおこなっているお祭りで楽しもうということになりました。

【徳田委員】

今、それぞれの動画を見させていただいて、凄くコミカルな部分等、惹きつける楽しい動画でした。それぞれ、メッセージ性、何を伝えたいという部分が明確に出ていたので、しっかり伝わって来ると思って見ていました。凄く良かったと思います。

【渡邊会長】

石炭の演劇は、当時私も実際に浜益小学校で見たことがあります。その後、はまます昔ばなしの絵本でも読みました。動画を見て、こういうこともあったと改めて思い出しました。それに、吉弘先生の探求心は素晴らしいと思って楽しみにしています。

【事務局】

演劇発表当時、実際に出演していた子どもたちが大人になってこの動画を作っています。

【木村委員】

私の長男もこの演劇に出ていました。今もその台本があります。新聞記事も取っています。当時は学芸会の炊き出しもやりました。

【渡邊委員】

戦争を語る夕べというのをやっていたよね。その映像は残っていませんか。あれは凄く大事なものだと思います。

【渡邊会長】

徳地委員が動画の中で話していた、一歩でも半歩でも踏み出そうというのはいい言葉ですね。なかなか、一歩を踏み出す勇気、半歩を踏み出す勇気というのは、簡単なようで不安があり、動き出せない人がいるから、積極的に手を差し伸べて、仲間に取り込んでいく方向に向かえば良いと思います。

【川村集落支援員】

竹かご作りの大変な作業をずっと記録していますが、どうやって編集するかという悩みがあり、今回編集してもらってこのような形となりました。また、川下の太田作司さんの取材をしており、しめ縄を作っているところ等を撮りためたものがあります。

佐藤信一さんも87歳、太田作司さんは88歳と皆さんご高齢なので、今、こういう技術を持って

いる方とか、昔の話を聞ける方がいるという情報がありましたら、是非お寄せいただければと思います。

【渡邊会長】

このような技術をお持ちの方々がいなくなったら地域でも困りますよね。柏木の神社のしめ縄も太田さんの手作りです。最初、藁で作ってもらっていましたが、長く持たせるためにビニールのような素材で作ってもらいました。本来は1年限りで更新するのが本当なのでしょうけど、節約の意味と毎年作ってもらうのも大変だということで同じものを飾っている状況です。

他の神社はどうしていますか。浜益の神社は毎年取り換えていますか。

【川村集落支援員】

おそらく、各地域の神社のしめ縄は太田さんがほとんど作っていると思います。材料はスゲを使い編んでいって、その上をビニールのござの様なもので巻いて、もう一度ねじり直して作っていました。そうすることで、長期間持つんだよと言う話をしていました。千本ナラのしめ縄も太田さんの作品です。

【渡邊会長】

他に何かありませんか。無ければ次回協議会の意見交換の機会に発言ください。

これで協議事項を終了いたします。本日出された意見については、事務局で整理していただいて、報告をしていただきたいと思います。

5 その他

【渡邊会長】

次にその他です。皆さんからこの場を使って、連絡事項や話題提供等ありましたらお願いします。

【細田委員】

浜益小学校、中学校ともに運動会が5月27日土曜日に開催されました。

これまで、コロナの影響で参加者や見ていただくことに関して制限をかけていたところでしたが、今回、昔ながらの運動会の形に戻し、大漁旗がたなびく晴天に恵まれて、前の日に雨が降っていたんですけども、地域の方々の協力でグラウンドの整地を行っていただいて、よさこいを踊ったり、42名の子どもたちが、各競技に笑顔で全力で取り組む素晴らしい運動会になりました。

今年から午後も種目を設けて、お昼には各家庭でお弁当を囲んで家族や親戚も集まって、皆の笑顔が広がった、素晴らしい一体感がある運動会を行うことができました。また来年も晴天になることを祈っております。

【徳田委員】

浜益小学校では、自主公開研究会を今年度もまた行います。昨年に引き続き、吉弘研究部長が企画しております。石狩管内全域に開催要項を配布しました。今回の要綱の写真は太田教諭が撮影したもので、区民カレンダーにも掲載されている写真です。太田教諭の趣味が写真を撮影することで、良い作品があったので使いました。7月19日水曜日の開催です。是非とも、地域の方々も本当にどなたでも結構ですので、子どもたちの様子を見に来ていただいて、頑張っている姿を見ていただければと思います。

なお、今回のチラシは第一次案内で、第二次案内も良い作品ができましたので、二次案内もお配りしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

【川村集落支援員】

荘内藩ハママシケ陣屋プロジェクトの資料2枚をご覧ください。このイベントは、第1弾から第3弾まで行います。令和3年度に大手門が建て替えられ、荘内藩陣屋研究会も新型コロナの影響で、活動の展開がなかなか難しい状況でしたが、今年は道の駅で陣屋のPRをし、石狩からバスを出して、浜益に人を連れて来て浜益のPRを行い、リピーターを増やそうと考え3つのプログラムを組みました。

一つ目は、歴史を知るということで6月20日火曜日から、7月10日月曜日まで道の駅あいろーど厚田にて特別展示を行う準備をしています。展示期間中に来てくださった方々にガイドを行います。

第2弾、第3弾は2枚目の資料をご覧ください。7月2日日曜日に、陣屋跡の中を実際に歩いていただくよう毎年、地域の方の力を借りながら草刈りを行っており、コースを1周するフィールドワークをしようと考えています。所要時間は60分から90分くらいかかると思います。

第3弾は7月8日土曜日、大地の侍という65年くらい前に製作された映画を上映する企画です。これは、当別町の開拓の歴史を描いたもので、伊達の岩出山藩が開墾をしたという史実を基にした、本庄陸さんの石狩川という作品を映画化したものです。映画の上映前に、荘内藩ハママシケ陣屋跡

の国指定史跡認定を受ける際に関わってくださった、歴史研究家の関秀志先生に講演をいただきます。北海道は東北6藩で警備を始めましたが、実際に開墾に着手して成功したのは、荘内藩だけということも特筆すべきところと思います。

皆様方には、是非来ていただきたいということと、周りの方々に発信をしていただいて、一人でも多くの参加をしていただきたいと思います。荘内藩陣屋研究会と教育委員会、北まち協の3者共催で進めております。申し込み受付中です。よろしくお願いいたします。

【事務局】

5月28日日曜日に開催された、東京浜益倶楽部の総会について報告いたします。資料はありません。市役所関係者としては、加藤市長、支所からは高橋支所長、佐藤課長、柿岡集落支援員、井上協力隊員が参加し、東京浜益倶楽部の会員は21名が参加して開催されました。当日、浜益を紹介する動画を上映しまして大変喜んでいただきました。この会自体が4年ぶりの開催で、皆さんも久しぶりの再会ということで、まだ生きていたなという話で盛り上がりおりました。

生の浜益の情報を聞ける貴重な機会で、毎年浜益に帰郷する人もいれば、ほとんど帰郷していないという方もおり、我々と話して懐かしんでくれていました。また来年の再会を誓って終了しました。

資料はありませんが、柿岡委員が北海道の地域おこし協力隊サポーターに就任しました。北海道が6月1日から、現役の地域おこし協力隊や、北海道各地域への隊員応募を希望する方の相談等を受け付けるワンストップ窓口を設置し、受け付けた相談の分野によって、協力隊サポーターに振り分け、相談、助言等を行って協力隊のサポートをしていくことになります。協力隊サポーターは、現状道内8名程度選任予定で、柿岡委員が北海道からの依頼を受け、協力隊サポーターに就任することとなりました。これまでの柿岡委員の地域おこし協力隊としての活動実績や、その後浜益で定住、起業した経緯が評価されたと思います。相談回数等は、まだ始まったばかりの事業ですのでわかりませんが、親身になって地域に馴染んでいく方法を助言できると思っております。

続きまして、はまます夜学のチラシをご覧ください。ワーケーション実証事業の連続講座です。6月8日木曜日の18時30分から第1弾を開催します。旧適沢コミュニティセンターにワーケーションで来訪される方々の夜の時間を活用して行う企画です。第1回目は、対話の場づくりがテーマとなっております。今年度6回開催予定で、都度回覧にて内容をお知らせします。会話の場づくりというのは、普段の生活や活動の人になるスキルや知識を身に着けられる機会となっております。受け付けは浜益支所地域振興課が窓口となっております。締め切りは過ぎておりますが、ご都合が合う方は飛び入りで覗きにきていただければと思います。

次に、令和5年度生きがづくり学園運動会の開催についてです。6月9日金曜日、午前10時から浜益コミュニティセンターにて4年ぶりに開催されます。コロナ禍を迎えて、4年間全く活動できなかった生きがづくり学園の復活で、今年度の一つ目の事業が運動会です。おおむね65歳以上の高齢者の方々が、楽しい会話や運動で元気に交流して、生き生きと参加していただければと思っております。

最後に海開きの情報です。今年の海水浴場の開設期間は7月8日土曜日から、8月20日日曜日までです。新型コロナウイルス感染症の制限がほぼない状況で観光シーズンのピークを迎えます。3年前以上の賑わいを期待しております。

【柿岡委員】

私も、東京浜益倶楽部の総会に参加してきました。また、先月行われた浜益中学校の修学旅行に東京浜益倶楽部の方々にも協力いただいたことをきっかけに、石狩市東京事務所の方々を中心となり、東京浜益倶楽部のメンバーがよく訪れる居酒屋さんで、浜益の食材を使った浜益フェアを期間限定で行いませんかと依頼を受けました。浜益の食材を使ったメニューを7月14日金曜日から、7月30日日曜日まで、新宿の高田馬場にあります地中海料理ロマーノというお店で、浜益フェアを行っていただくことになりました。

メニューは時期的なことも考えて安定供給できるものとして、浜益産のホタテとタコを使ったメニューを中心に何品か作っていただけることになっております。東京にご旅行等の際は是非お立ち寄りください。

6 次回の開催日程について

【渡邊会長】

事務局から次回の開催日程について説明をお願いいたします。

【事務局】

次回の地域協議会についてですが、おおむね8月の初旬を目途に日程を調整させていただきたいと

考えています。日程調整につきましては、改めてご連絡をいたしますのでよろしくお願いいたします。

7 閉 会

【渡邊会長】

それでは、以上を持ちまして、第2回地域協議会を閉会いたします。長時間お疲れ様でした。

令和5年 月 日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡 邊 隆 之